

(報道資料)

**日本人の健康を見守り続けて62年  
タニタのヘルスマーターが国内累計販売台数1億台を達成  
「未来のヘルスマーターコンテスト」など記念事業を実施**

2021年5月25日

株式会社タニタ

健康総合企業の株式会社タニタ（東京都板橋区前野町1-14-2、社長・谷田千里）のヘルスマーター（家庭用の体重計・体脂肪計・体組成計）が、2021年5月に国内累計販売台数1億台を達成しました。タニタがヘルスマーターの初号機となる体重計を発売したのは1959（昭和34）年。以来、タニタのヘルスマーターは体重計から体脂肪計、体組成計へと進化を遂げながら、62年にわたって日本人の健康を見守り続けてきました。この1億台達成を記念し、お客様への感謝を込めて、全国の小・中学生を対象に未来のヘルスマーターを描いてもらう絵画コンテスト「未来のヘルスマーターコンテスト」、1億分の1台となるさまざまな家庭で活躍しているヘルスマーターの写真を投稿してもらう「あなたの家の“1億分の1台”を探せ！ 写真投稿キャンペーン」、お題として用意したヘルスマーターに乗っているイラストにユニークなセリフを入れてもらう「タニタのってる？大喜利 投稿キャンペーン」などを実施します。コロナ禍における運動不足からコロナ太りなどの健康二次被害が社会問題となる中、本キャンペーンを通じて「健康をはかる」ことへの意識を高め、日本人の健康づくりをサポートしていきます。

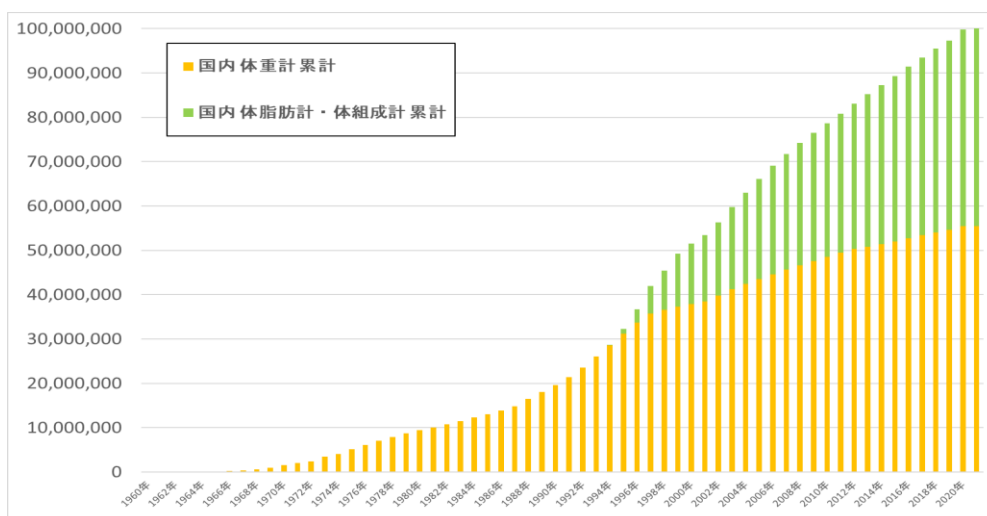
タニタがヘルスマーター初号機となる体重計「No. 1302」（2800円）を発売したのは、日本が高度経済成長期に差し掛かった時代でした。当時の日本では「体重は銭湯の体重計ではかるもの」という考えが一般的でしたが、米国の一般家庭には風呂場があり、一家に1台の体重計が使用されていました。それを知った創業社長の谷田五八士（たにだ・いわじ）は、日本においても生活レベルの向上と洋風化が進むと考えるとともに、「米国成長の源泉は国民の健康にあるのではないか？ 日本が成長するためには家庭用の体重計が必要になる」との思いから、体重計を開発、販売を開始しました。

その後1978（昭和53）年には、時計がデジタル化していく流れに呼応して国内初のデジタルで表示するヘルスマーター「システム101」（1万2800円）を発売しました。1994（平成6）年には、「肥満は体重が重いことではなく、脂肪の量が多いこと」という医師の言葉を受けて、世界初となる家庭用の体脂肪計「TBF-501」（4万5000円）を発売。1995（平成7）年に発売した普及版の「TBF-511」（2万円）はヒット商品となり、日本人に「体脂肪率をはかる」文化が定着していきます。

2003（平成15年）には、「内臓脂肪レベル」「基礎代謝量」「筋肉量」など新たな健康指標を計測できるインナースキャン「BC-522」（オープン価格）を発売。体脂肪計は「からだを構成する組成分」をはかる体組成計へと進化します。近年では、2015（平成27）年に筋肉の状態を評価する新指標「筋質点数」を評価できるデュアルタイプ体組成計を発売しました。その一機種となるインナースキャンデュアル「RD-903」（オープン価格）はスマートフォンアプリで計測データを管理できるなど、利便性を高めています。さらに、2020年には「TANITA 4C Technology」を搭載した最新モデル「RD-803L」（オープン価格）を発売しました。医療・研究機関で体組成計測のゴールドスタンダードとなっている、からだを4つの成分（4 Component）で分析する4C法で収集した生体データを基準に開発した新たなアルゴリズムを含め、タニタの体組成計測技術を集約したハイエンドモデルです。

タニタでは、「体重は健康のバロメーター」といわれていたことから、体重計をヘルスマーターの名称で発売しました。さまざまな健康指標を計測・表示できる現在の体組成計は、名実ともにヘルスマーターと呼べるものになりました。時代の変化とともに進化してきたヘルスマーターは多くの生活者に愛用され、国内販売台数1億台を達成することができました。これを受け、タニタでは記念事業の第一弾として「未来のヘルスマーターコンテスト」を実施します。全国の小・中学生を対象に、自由な発想でヘルスマーターの未来像を描いてもらいます。応募期間は5月25日から9月6日まで。詳細は「未来のヘルスマーターコンテスト」特設サイト（[https://www.tanita.co.jp/content/loku\\_contest/](https://www.tanita.co.jp/content/loku_contest/)）で公開します。タニタでは今後も新たな健康指標を創出するとともに、これを搭載したヘルスマーターを商品化し、日本人の健康づくり、ひいては国が掲げる「健康寿命の延伸」「医療費の適正化」に寄与していきたいと考えています。

※商品の価格は発売当時のもので、税別表記となります。



ヘルスマーター国内販売台数1億台達成の推移

■「未来のヘルスマーターコンテスト」特設サイト

[https://www.tanita.co.jp/content/loku\\_contest/](https://www.tanita.co.jp/content/loku_contest/)

■「タニタのってる？キャンペーン」特設サイト

<https://tanita2021cp.jp/>

**お客様からのお問い合わせ先**

株式会社タニタ お客様サービス相談室  
ナビダイヤル：0570-099655  
受付時間：平日9：00-18：00

報道資料に記載されている情報は発表日現在のものです。このため、時間の経過あるいは後発的なさまざまな事象によって、内容が予告なしに変更される可能性があります。あらかじめご了承ください。

(参考資料)

## 【歴代のヘルスマーター】

全てはこの1台から始まった！

ヘルスマーター初号機となる体重計「No. 1302」(1959年)



当時の日本では、「体重は銭湯ではかる」という考えが一般的でした。しかし、米国の一般家庭には風呂場があり、一家に1台の体重計がありました。これを知った創業社長の谷田五八士は、日本人の生活レベルの向上と洋風化の傾向を考え、また「米国成長の源泉は国民の健康にあるのではないか？ 日本が成長するためには家庭用の体重計が必要になる」との思いから、家庭用体重計への進出を決めました。鋳物の体重計が主流の中、当時のタニタが得意としていた板金加工技術を活用し、精度とデザイン性を高いレベルで両立させています。

価格：2800円

アナログからデジタルへ。高精度計測への礎に

国内初のデジタルヘルスマーター「システム101」(1978年)



時計がアナログ式からデジタル式に転換しつつあった時代背景を見据え、またアナログ式では不可能な100グラム単位の計量を実現したいという思いから、ヘルスマーターのデジタル化に踏み切りました。開発に5年の歳月をかけ、日本初のデジタルヘルスマーターとして発売。当初はアナログ式と同じ500グラム単位の計量でしたが、後に100グラム単位へと改良していきます。

価格：1万2800円

## ヘルスメーターの概念が根本的に変化！ 「体重をはかる」から「体脂肪率をはかる」へ 世界初の家庭用体脂肪計「TBF-501」（1994年）



世界初の体脂肪計（業務用）の発売から2年後、当時の社長・谷田大輔は「誰でも脂肪をはかることができれば、もっと多くの人の健康づくりに貢献できるはず」と考え、業務用の技術を応用して低価格化を実現した世界初の家庭用体脂肪計を商品化しました。「死亡」を連想することから、この機種から「脂肪率」ではなく「体脂肪率」という呼び方にしています。業務用に比べると10分の1の価格でしたが、体重計に比べて高価だったことから、販売は振るいませんでした。

価格：4万5000円

## 「体脂肪率をはかる」という文化を日本に定着させたヒットモデル 普及版体脂肪計「TBF-511」（1995年）



「TBF-501」の販売不振を受け、生活者が体脂肪計に許容できる価格帯を徹底的に調査しました。その結果を踏まえ、生産計画や資材調達を見直すことでコストダウンを図り、2万円という低価格を実現。当時を知る営業担当者が「飛ぶように売れた」と語るヒットモデルで、工場は休日もフル稼働で生産していました。この商品の普及により、日本人に「体脂肪率をはかる」という文化が根付いていきました。

価格：2万円

計測項目が格段に増え、名称も「体脂肪計」から「体組成計へ」

筋肉量、基礎代謝量など新指標がはかれる体組成計「BC-522」（2003年）



体脂肪計の普及により、体重や体脂肪を減らすことに懸命になるあまり、筋肉を落としてしまうなど、無理なダイエットをしてしまう人が増えていきました。そこで、筋肉量をチェックする機能の開発を行い、先行していた内臓脂肪レベルや基礎代謝量などと合わせて計測できるオール・イン・ワンモデルの「体組成計」を発売しました。

価格：オープン

スマホで計測データを管理！ デザインもスタイリッシュに進化

筋肉の状態を評価するデュアルタイプ体組成計「RD-903」（2015年）



二つの周波数の電流で計測する「デュアル周波数計測」により精度を高めるとともに、新たな指標として筋肉の状態を評価する「筋質点数」の計測・表示機能を搭載しました。通信機能も備え、スマートフォンアプリで計測データを管理することもできます。スタイリッシュなデザインから、からだづくりに熱心な男性の支持を集め、ヒット商品となりました。

価格：オープン

## 「TANITA 4C Technology」搭載。

### 精度を追求した最新モデルデュアルタイプ体組成計「RD-803L」（2020年）



ヘルスマーターの進化の最先端となる、「TANITA 4C Technology」を搭載したデュアルタイプ体組成計の最新モデルです。医療・研究機関で体組成計測のゴールドスタンダードとなっている、からだを「脂肪」と「ミネラル」「タンパク質」「水分」の4つの成分（4 Compartment）で分析する4C法で収集した生体データを基準に開発した新たなアルゴリズムを含め、タニタの体組成計測技術を集約しました。左右部位別で計測でき、スマホアプリとも連携も可能な、タニタヘルスマーターのマスターピースです。

価格：オープン

※商品の価格は発売当時のもので、税別表記となります。